

# 意見交換会開催結果概要

- 1 開催日時 平成26年11月22日（土）
- 2 時 間 開会 午後1時～ 閉会 午後2時30分
- 3 場 所 教育プラザ富樫 121・122研修室
- 4 参加人数 26名
- 5 出席議員 田中展郎議長、松村理治副議長、  
小林 誠市民福祉常任委員長、  
麦田 徹市民福祉常任副委員長、  
奥野秀也市民福祉常任委員、高岩勝人市民福祉常任委員、  
黒沢和規市民福祉常任委員、井沢義武市民福祉常任委員、  
松井純一市民福祉常任委員、  
横越 徹議会運営委員長、安達 前総務常任委員長、  
秋島 太経済環境常任委員長、  
下沢広伸建設企業常任委員長、  
角野恵美子教育消防常任委員長  
（オブザーバー議員）  
坂本泰広議員、高 誠議員、山本 保議員、  
源野和清議員、長坂星児議員、小間井大祐議員、  
広田美代議員、前 誠一議員、宮崎雅人議員、  
小阪栄進議員、喜多浩一議員、野本正人議員、  
久保洋子議員、新村誠一議員、玉野 道議員、  
森尾嘉昭議員
- 6 次 第 別紙のとおり
- 7 結果概要 以下のとおり

麦田徹市民福祉常任副委員長の進行のもと、田中展郎議長の開会挨拶に引き続き、出席議員の紹介を行った。次に、黒沢和規市民福祉常任委員から平成26年度金沢市議会10月定例会議会報告を行った後、高岩勝人市民福祉常任委員から意見交換会テーマ報告として「子ども・子育て支援新制度について」の報告を行った。その後、小林誠市民福祉常任委員長の進行により意見交換を行い、松村理治副議長の閉会挨拶の後、閉会した。

## 1. 開 会

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

定刻となりましたので、ただいまより金沢市議会意見交換会を開催いたします。本日は三連休の初日、そしてこんなに天気がよくなりまして出にくい中をお集まりいただきましてありがとうございます。

私は、本日の司会進行を務めさせていただきます市民福祉常任委員会副委員長としております麦田徹でございます。よろしくお願いいたします。

## 2. 開会挨拶

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

開会に当たりまして金沢市議会議長の田中展郎から皆様方に御挨拶を申し上げます。

【田中展郎議長】

皆さん、こんにちは。市議会議長の田中でございます。

大変すばらしい天気になりました。本日は金沢市議会の意見交換会に御出席していただきまして本当にどうもありがとうございます。

この意見交換会ではありますが、本年度、ことしの8月から議会改革の一環として実施しているものであります。今回が3回目ということになります。この間、競輪場外車券売り場の問題をめぐり、市民の皆様にも市政に対する不安や不信を抱かせたことを心よりおわびを申し上げたいと思います。

この件につきましては議会にもさまざまな御意見が寄せられておりますが、議会としても事実解明を行うため、今、特別委員会を設置し、調査を行っているところであります。調査結果がまとまり次第、改めて市民の皆様にも御報告をさせていただきますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

さて、本日の意見交換会のテーマは、来年度から始まる「子ども・子育て支援新制度について」としてあります。金沢市では来年度から始まる新制度への準備のほか、次期かなざわ子育て夢プランの作成にも取り組んでおります。議会といたしましてもこの機会に皆様の御意見をお聞きし、市政に反映できるものは反映していきたいと思っております。

活発で建設的な意見交換ができればと思っておりますので、どうぞ皆さん、よ

ろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。(拍手)

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

ありがとうございました。

ここで、今回の意見交換会に出席している議員を紹介いたします。

まず、今ほど御挨拶をいたしました田中展郎議長でございます。

【田中展郎議長】

よろしく申し上げます。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

次に、松村理治副議長でございます。

【松村理治副議長】

御苦労さまです。よろしく申し上げます。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

次に、今回の意見交換会を担当している市民福祉常任委員会に所属している議員を紹介いたします。

市民福祉常任委員長であります小林誠議員です。

【小林誠市民福祉常任委員長】

よろしく申し上げます。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

次に、井沢義武議員です。

【井沢義武市民福祉常任委員】

申し上げます。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

上田章議員です。

【上田章市民福祉常任委員】

よろしく申し上げます。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

黒沢和規議員です。

【黒沢和規市民福祉常任委員】

よろしくお願いいたします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

松井純一議員です。

【松井純一市民福祉常任委員】

よろしくお願いいたします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

高岩勝人議員です。

【高岩勝人市民福祉常任委員】

よろしくお願いいたします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

奥野秀也議員です。

【奥野秀也市民福祉常任委員】

よろしくお願いいたします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

次に、金沢市議会には市民福祉常任委員会を初め5つの常任委員会と議会運営をつかさどる委員会として議会運営委員会がありますが、各委員会の委員長も出席しておりますので、あわせて紹介させていただきます。

議会運営委員長であります横越徹議員です。

【横越徹議会運営委員長】

こんにちは。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

総務常任委員長であります安達前議員です。

【安達前総務常任委員長】

よろしくお願ひします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

経済環境常任委員長であります秋島太議員です。

【秋島太経済福祉常任委員長】

よろしくお願ひします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

建設企業常任委員長であります下沢広伸議員です。

【下沢広伸建設企業常任委員長】

よろしくお願ひいたします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

教育消防常任委員長であります角野恵美子議員です。

【角野恵美子教育消防常任委員長】

よろしくお願ひします。

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

また、先ほど御紹介しました市民福祉常任委員会の委員及び各委員会委員長以外の市議会議員については、オブザーバーとして参加しておりますことを御報告させていただきます。

次に、本日の意見交換会の進め方について御説明いたします。

受付で配付いたしました資料のうち、意見交換会という表題の資料をごらんください。こちらに次第を記しております。

次第の3になりますが、この後、議会報告といたしましてこの意見交換会の直近に行われました10月定例会議会の概要を中心として議会の報告を10分程度させ

ていただきます。

その後、次第の4、本日のテーマであります「子ども・子育て支援新制度」につきまして20分程度御説明をいたしました後、皆様と意見交換をさせていただければと思っております。

また、意見交換につきましては、本日のテーマである「子育て支援について」ということで行わせていただき、その後、その他の事項に関する意見交換として特にテーマを設けず御意見をお受けしたいと思っております。

なお、会場の都合もありますので、進行ぐあいにより御発言を希望される方が多い場合には、途中で意見交換の時間を打ち切らせていただく場合もありますので、まことに申しわけございませんがあらかじめ御了承ください。

また、御発言をいただく際の注意事項として、あらかじめ3点のお願いをいたします。

まず、1番目として、発言を希望する方は挙手をお願いいたします。指名を受けましたら、係員がマイクをお持ちしますので、お住まいの町名とお名前を御発言いただき、その後で御意見をお願いいたします。

2番目ですが、今回は議会として開催している意見交換会ですので、議員の個人的な見解は述べないこととしておりますことを御了承願います。議員個人の考え方や意見を聞きたい場合には、意見交換会の終了後にそれぞれの議員に対して質問されるようお願いいたします。

3番目ですが、本日の議事の内容は、後日、金沢市議会のホームページにアップいたします。皆様方からいただきます御意見につきましても、お住まいの町名、お名前とともに掲載させていただきますので、あらかじめ御了解をお願いいたします。

### **3. 平成26年度金沢市議会10月定例月議会報告**

#### **【麦田徹市民福祉常任副委員長】**

それでは、報告に移ります。

まず、金沢市議会では今年度からほぼ1年間を会期とする通年議会を導入していますが、8月と9月に緊急議会をし、そして10月に定例月議会を開き、議案の審査などを行いましたので、その内容につきまして10月定例月議会の概要を中心にパワーポイントを使って御報告いたします。

報告者は、市民福祉常任委員会所属の黒沢和規議員です。

[黒沢和規市民福祉常任委員が平成26年度金沢市議会10月定例月議会報告について別紙のとおり説明]

#### **【麦田徹市民福祉常任副委員長】**

ありがとうございました。

御質問はこの後まとめてお受けしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

#### **4. 意見交換会テーマ報告「子ども・子育て支援新制度について」**

**【麦田徹市民福祉常任副委員長】**

続きまして、本日の意見交換会のテーマであります「子ども・子育て支援新制度」につきまして、パワーポイントを使って御説明いたします。

説明が終了いたしましたら、このテーマに沿った意見交換会を行いたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

報告者は、市民福祉常任委員会所属の高岩勝人議員です。お願ひします。

[高岩勝人市民福祉常任委員が意見交換会テーマ報告について別紙のとおり説明]

ありがとうございました。

#### **5. 意見交換**

**【麦田徹市民福祉常任副委員長】**

それでは、意見交換に移りたいと思いますが、進行を市民福祉常任委員長である小林誠議員と交代したいと思います。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

小林です。

ただいまから意見交換に移りたいと思いますが、ぜひとも皆様方から御意見、御要望を承りたいと思いますが、いきなり挙手をして御発言願ひしますといってもなかなか皆さん、挙手しにくい環境でもありますけれども、せっかくいらっしやったのでまずどうぞ。

**【参加者】**

未就学児についてはかなり対策をされていると思うんですけども、放課後児童クラブについて、小6まで対象がふえたのはありがたいんですけども、保育園は最長7時まで保育していただきまして、土曜日にも園によっては7時まで面倒見てもらえるんですけども、これが児童クラブのほうになりますと、土曜日はうちの近所の児童クラブですと3時までしか見てもらえないなどありますので、これまでどおり土曜日もお仕事をしている御家庭の方にとっては、また仕事の面で不都合も生じるのではないかと思うんですけども、その時間については議論してもらえるのでしょうか。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

放課後児童クラブに関してですけれども、今ほどおっしゃっていただいたよう

に保育園は延長保育を含めて今7時までということがなされておりますけれども、それに対して放課後児童クラブは、その施設によって閉所時間、開所時間というのはばらばらでありまして、おおむね夕方6時で終了しているところが多いとお聞きしております。

保育園のときには夜7時まで預けてもらっていたところが、小学校に上がった途端に6時までになってしまうということで、その結果、仕事をやめざるを得ないということも多くの方々の御意見としてお聞きをしておりますので、今私たちも議会のほうでそういったことを含めて、やはり小1の壁というものをしっかりと撤去していかなければならないと考えておりますので、そういったことも含めて今議論をしている最中ですし、先般の10月定例月議会の中でも、今後、6時半であったり7時まで開所する放課後児童クラブに対しては、これは来年度の予算編成との関係もありますのでまだ詳細に申し上げることはできませんけれども、何らかの形でそういった6時半、7時まで開所する放課後児童クラブに対しては金沢市としても新たな補助制度をつくっていきたいという市長答弁もありましたので、今後、予算編成の過程もありますけれども、そういったことでこれからも対応していきたい。また、議会としても議論をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

そのほか御意見、御要望等ございますでしょうか。

なかなか御発言しにくいと思いますので、一度、隣の方々や前、後ろの方々とぜひとも子どもに関して、また子育て支援に関しての情報交換を今から2分間、時間を設けさせていただきますので、ぜひとも情報交換をしていただいた上で新たに子育てに関する御要望であったり御意見を承れればと思いますので、初めての方もいらっしゃると思いますので、ちょっと自己紹介も兼ねてぜひとも隣、また前後の方々と子育てに関する情報交換を今から2分間、時間を設けますので、ぜひともよろしく願いいたします。その上で御意見を承りたいと思いますので、お願いいたします。

#### 〔情報交換〕

##### 【小林誠市民福祉常任委員長】

済みません。そろそろ2分が経過しようとしておりますので、情報交換の時間を終えさせていただきますので、今、皆様で情報交換していただいた上で行政サイド、また議会サイドに対しまして御意見、御要望がありましたら御発言いただければと思います。

なお、その際、町名とお名前の御発言もよろしく願いいたします。

##### 【参加者】

保育料の算定基準なんですけれども、今まで所得税を基準にしてやっておった

のが、なぜ市民税の割合でなるのか、その理由がわからないんです。

それと、今までの所得税割合と、これから新たにできる市民税割合の場合、こういう場合はこういうふうになります、この対照できるような資料がないと、誰もどうなのか、かえって保育料が上がるんじゃないかとか、そういうふうになってくると思うんですけれども、その辺をもっとわかりやすく何か資料ないんですか。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

保育料の算定基準のことでありますけれども、高岩委員から今ほどパワーポイントで説明をさせていただきましたけれども、改めて御説明のほうをさせていただければと思いますが、ただ、議会としてどこまできちんと説明させていただけるかわかりませんが、可能な範囲で。

**【高岩勝人市民福祉常任委員】**

先ほどの、ちょっと私の知識不足で1号認定はゼロというふうに言いましたが、今、認定中ということだそうでした、ゼロではないということをお訂正させていただきます。

保育料に関しましては、おっしゃるようにはわかりにくいところがあって、各市町村によっていろいろとやっております、基本的な考え方は現在の2万5,700円でしたっけ。16年前のこの負担から市は上げないで据え置いていこうという考えがあるもんですから、国の所得税から市民税との、これどのようにどうやってこうなったかというのは私ちょっと調べてないんですけれども、我々が重視していますのは、とにかく皆さんが負担する保育料を上げないでおこうというところは見ていかなければならないというふうに思っておりますので、先ほど申しました16年間継続して、下がってきたら一番いいんですけれども、なかなか物価の上昇もありますので、できる限り努力をしながら16年間据え置いているという役所の努力と我々のいろんなチェック機能を踏まえて御理解いただけたらというふうに思うんですけど。

**【参加者】**

私、保育園の法人の理事をしております、金沢市にも登録されているかと思うんですが、理事とか園長とか、それから理事長ですね。そういった皆さんの資質って失礼な言い方ですけど、保育士の資格があるとか教師の資格があるとか、そういう方がどれぐらいいるのかなというのがちょっと疑問を感じている部分があるんです。

何か聞くところによると、全然専門外の人が保育園を運営しているみたいな感覚で保育園にかかわっている理事長さんとかもいるとかっていう話もちらっと聞くんですが、やはり保育園の資質ということであれば、その方がもちろんだめやということではなくて、きっちりそういう教育といいますか研修だとかそういうものがなされているのかなというふうに思うわけです。私も理事なので、理事と



してのそういう学習を、教育を、どういうふうにされるのかなというのはかねがね不安で、理事会に出てもそういったようなアクションがないので、市としてどういうふうに考えているのかな。これはとても子どもの教育水準を上げるとか、保育水準を上げるという意味では大事なことなので、ぜひお聞かせいただきたい。できれば、理事長の割合で、どれぐらい保育士の資格を持っている、教師の資格を持っている、そういう方がおいでなのかということも教えていただければありがたいというふうに思います。

先ほど質問された所得税と市民税の変更なんですけど、私の予想なんですけど、所得税とかがって8月にならないと確定しないじゃないですか。だから、市民税で確定したもので決めれば問題ないわけですよ。4月から推測で保育料決定しているわけですから。そういうことで国のほうも市民税に変えたのかなというふうに、私は今聞いていて思ったんですけど、何か余りそういうこと御存じないというのは、しっかり、まあ、いいですけど。そういうことかなと思います。

短めで、とりあえずそこら辺で失礼します。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

ありがとうございました。

今ほど保育園の法人役員が保育士の資格なりはきっちり持ってないんじゃないかということでの御質問であったかと思えますけれども、定款のほうでどのような定めになっているか、ちょっとその詳細のほうは存じ上げておりませんが、やはり多様な意見をその保育園に反映させるという意味では必ずしも保育士の資格というものが必要かということ、またそこは議論があろうかと思えますので、そういったことも議会として今御意見として承りましたので、今後の参考にさせていただきます。

ありがとうございました。

**【参加者】**

保育士をしているんですけども、今はさまざまな困難を抱えた子どもたちとか、家族への丁寧なかかわりがすごい求められている中で、保育士もそういうことを求められていますし、離乳食とかさまざまなアレルギーを持っているお子さんに対処する給食の職員など、保育の仕事、保育士とか保育園の仕事というのは専門性の高い仕事なんです。なんですけれども、処遇というのは社会的に見てやっぱり低いというのがありまして、全労働者に比べての月額が9万円ほど低いとかそういう現場もありますし、勤続年数もやっぱり短いというのが、続けられないということがやっぱりあるんです。それで、非正規という割合も多いので、ぜひそういう水準に合ったお給料を、私、処遇改善のほうをお願いしたいと思えます。さっきの子育て支援のところの教育・保育の質的改善の中で、市のほうからは処遇とか人材確保というお話が出ていたので、よろしくお願いたします。

**【高岩勝人市民福祉常任委員】**

今の意見と先ほどの意見は、やはり国のほうも十分に考えていまして、先ほど言いました3つの柱の下子ども・子育て支援の充実というところで、さまざまなニーズに対応したというところがありまして、特に今、おっしゃった保育士さん、保育教諭さんの処遇に関しまして具体的に給料を上げていただきたいというような方針もあるようです。それが全部整いますと1兆1,000億円くらいの財源が必要になってくるということでありまして、来期からとりあえず7,000億円を充当しながらやっていくということでありまして、やはり待遇が悪いばかりにやめられたりとかしますとどんどんどんどん質の低下につながっていきますので、そのあたりは十分に今現在考えているということと、先ほど言いました5カ年計画、この中にもそれが盛り込まれるはずになっておりますので、その部分もチェックしていきたいというふうに思っております。

#### 【参加者】

私は3人の子育てをして、フルで働いております。実家も遠いので、子どもが病気のとときとか、いつも朝、病児保育とかにお願いして、空きがなかったりしてとても困っております。それで、施設数をもう少しふやしていただけないかなというお願いと、あと、済みませんが10月4日に実は子ども・子育て市民フォーラムというのが同じくこちらの会場であったんですけど、そのときのお話といいですか、ちょっと御質問ができなかったので、県の対策になるのかちょっと私もわからないんですけども、急速な少子化の進行ということで不妊治療のことなんですけれども、富山県とかは所得制限がなく支援をしてといいですか助成があるんですけれども、石川県はやっぱり夫婦の合算が130万以上というような壁がありまして、自分自身もちょっとそういうのに取りかかったことがあって、そういうのが本当に違うんだなということを知ったことがありまして、そういう壁がある御夫婦はやっぱり子どもを持ちたいと思っても、まずそちらで壁にぶち当たって諦めざるを得ない状況なのかなというのはありました。そういうのを金沢市のほうから働きかけていただけたら、皆さんに夢を与えられるんじゃないかなと思っております。

次は、小児医療の援助なんですけれども、10月から延びて我が家でもとても助かっておりますが、ほかの市町によっては18歳まで入院、通院が無料というところも少しずつできていますので、できたらそういうふうにお力添えをいただけたら助かります。

あと、保育料が国より25%安くということで、何か11億円も投資といいですかされているということをお聞きしたんですけども、実は里帰り出産をしたときに市町によっていろいろ差があるんだなということがわかって、志賀町は金沢市の半分だったのがちょっとびっくりしまして、これ、何かの間違いかなと思って聞いたことがあったので、これだけ差があるんだなというのはとても驚いていたのを思い出しました。これももうちょっと、25%安くなっていますが、もうちょ

っとお力添えいただけたらとても助かります。よろしくお願いします。

何かわがままな意見ばかりで申しわけありません。ありがとうございます。

【小林誠市民福祉常任委員長】

御意見ありがとうございました。

今、病児保育のこと、不妊治療のこと、また医療の助成制度のこと、そして保育料のことについて4点御意見いただいたと思いますけれども、まず、小児医療のことから、医療費助成制度ですよね。医療費助成制度のほうは私のほうからお話しさせていただければと思いますけれども、金沢市は、これまで小学校未就学児まで医療費助成制度を行ってきたという経緯がありましたけれども、段階的に2年前に小学校3年生までということで上げさせていただきました。ことしの10月1日からは通院、入院とも中学3年生まで医療費助成を行っているところであります。これは4年前の市長選挙の、今の市長の最大の公約の一つでもありましたが、そういった公約の実現のために執行部サイドとしては努力をされてきた結果だと思えますし、また当然、議会のほうでもそういった議論をしながら、これまで中学校3年生まで入院、また通院の医療費助成ということを実現させていただいたことであります。

ただ、この中学校3年生まで入院・通院医療費を助成するに当たって、金沢市のほうではたしか4億円か5億円近い予算を新たに追加して行っている制度でもあります。当然予算も伴う制度でありますので、当然多く子どもたちが、確かに18歳までそういった子どもの医療費助成制度ができればということは理想ではありますけれども、今後、予算との関係も照らし合わせた上で、その時代のニーズ、また子育て支援のニーズに応じた形で対応をさせていただければ、そういった議論もさせていただければと思っております。

あと、病児保育のことですけれども、今、金沢市では7カ所、病児保育の施設がありますけれども、これは国会のほうでも女性の社会進出というものがうたわれている中で、今後、病児保育というものもさらに拡大していかなければならない。これは金沢市の問題ではなく、国の大きな方針として示されていく大きな課題であろうと思っております。

そういった中で、金沢市もそれらに対して適切に対応できるような取り組みをまた議論もさせていただければと思っておりますし、保育料に関しては、先ほど高岩委員が説明されましたように、確かに他都市と比べて保育料の濃淡というものはあるかと思いますが、金沢市の限られた予算の中で、いかに子育て支援に対するサポートができるか、保育料が設定できるかということをお勘案しながら、今の料金体系というものになっておりますので、新しい制度になったからといってどんと上がるということはないように議会のほうとしてもしっかりとチェックし、議論をしていきたいと思っております。

あと、不妊治療のことですけれども、金沢市では自己負担の2分の1、

1年間で5万円を限度に助成しているということでもあります。確かに不妊で悩まれている方もいらっしゃいますので、これは県のほうとも連携をしながら、金沢市としてどこまで助成できるかということ、また少子高齢化の中で少しでも子どもたちが生まれやすい環境をつくっていくことは大事なテーマでありますので、今後も参考意見として御意見を賜ればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

#### 【参加者】

4歳の女の子とゼロ歳の男の子2人、子ども3人育てているパパの立場から言いたいと思います。

今、保育料のことについては私も言おうと思っていたんですけども、回答もあるんですけども、実感として昨年、子どもが生まれたときに今の手狭なアパートから引っ越ししようと思って自治体の保育料を調べたんですけども、私の世帯収入の中ではやっぱり白山市や川北町とかと比べて金沢市は1万円ぐらい、月の保育料が高いと。年間にすると12万円、可処分所得でいうとそのぐらい差が出るんで、現実的に今、私意見言っていますが、意見言わないで白山市とか野々市とか川北に引っ越しする人もいるんじゃないかなと。なので、保育料についてはぜひもっと考えていただきたい。2人で働いていると大体所得割合、この8番、7番のあたりを超えちゃう人は多いので、本当にもっと高収入の人に多く負担してもらってもいいんじゃないかなって、これは私の個人的なことですけども思っています。

あと、保育料に関して、今、保育園ごとに違うのかもしれないんですけども、保育料の口座引き落としとかそういうのもちょっと、今忙しい中、仕事をしている中、銀行でしか払い込みできないので、コンビニで収納できたりとか口座の自動引き落としとかもぜひ考えてもらいたいというのが思っております。

あと、ほかに医療費のこともあったんですけども、先日、昨年かな、私の娘、ロタで入院したんですけど、重篤になりまして1週間入院して、入院費用は6万円近くあったんですけども、もちろん費用補助は出たんですけども、2カ月後になっていまして、まず6万円払わなきゃいけないというのがやっぱり子育て世帯にとって後で来るお金だと言われても、2カ月後とかに来るよりは窓口でちゃんと精算してもらえれば大変助かると。保険会社の保険のほうは早くおりのような感じなので、その辺もぜひ考えていただきたいなど。

あと、子育てしているんですけども、石川県ですけども、富山や福井に比べて雨の日の遊ぶ場所が少ないということで、これもこれから冬になってきて雪も降ってうちにこもることが多いんですけども、子どもを安心して遊ばせられる楽しい場所。ここもありますけれども、いろいろもっとつくっていただきたいというふうに考えています。以上。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

ありがとうございました。

まず、保育料のことでありますけど、今ほど御提案として口座の引き落としであったりコンビニ支払いができるようにという御意見もありましたので、また今後、そういった御意見も踏まえて委員会の中でも、また議会の中でも議論をさせていただきながら、執行部に当然ただしていかなければならないことでもありますので、そういったことが可能かどうかもまた議論をさせていただければと思っております。

あと、医療費助成の制度でありますけれども、確かに今の現状でありましたら一旦窓口で全額払わなければならない制度になっております。ただ、先般、9月の県議会で知事が、今後、現物給付を行っていきたいという方針を示されました。それに対して今、金沢市もどういった対応ができるかということをおと協議をしていく最中でありますので、今後、金沢の医療機関として窓口の現物給付ができることを、山野市長も先般の議会では検討すると述べていますので、今後、窓口にてそういった支払いをしなくなるのが、今これ議論の最中なのでまだここで、今後、窓口で支払いすることはありませんということは断言できませんけれども、そういったニーズに対応できるようにしていきたいと思っております。

あと、富山や福井に比べて雨のとき、また冬の時期の子どもたちの遊び場が少ないという御意見でありましたけれども、議会でもその議論はこれまで何度か議論をさせていただいております。その結果かどうかは別にして、今、城北市民運動公園のほうで屋内広場の建設にこれから取りかかるところでありまして、そこには雨天時、子どもたちが遊べるようなアスレチック等々を含めた遊技施設を整備する予定でありますので、またそういったものが完成すればそういったところをぜひとも御利用いただければと思っております。

以上です。そのほか御意見ございますでしょうか。

**【参加者】**

認定2号、3号でこちらは勤務時間によって2号、3号を決められるようなんですけれども、遠いところにお勤めされている方とか、通勤時間1時間とか、極端な話、2時間とかかかる方だと、勤務時間だけで決められても長時間保育とかを希望される方もいるかと思うんですけれども、そこも加味していただけるんでしょうか。これもこども福祉課に聞いたほうがよろしいんでしょうか。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

そうですね。ちょっとそこまでの今情報を持ち合わせておりませんので、こども福祉課のほうに問い合わせいただければと思いますし、また先ほど高岩委員から説明をさせていただきましたけれども、金沢市は今年度から新制度に先駆けて保育利用支援員という制度を実施しております。皆さんのページでいうと9の①に利用者支援事業とありますけれども、この右側に「金沢市における事業名・

実施数」と書いてありますが、ここに保育利用支援員（H26から新制度施行前に実施）となっております。金沢市では、この保育利用支援員という方がこども福祉課のほうに常駐していますので、ぜひとも保育の入園に関してはこの保育利用支援員の方に御相談をいただきながら、そういったことも含めてお問い合わせいただければと思っております。

それでは、このテーマに関しては時間もそろそろ限られてきてますので、もう1問お受けしたいと思いますが、どうぞ奥の方。

**【参加者】**

幼児教育現場に今現在おります。それで、医療費の支援のことなんですけれども、小学校6年生が中学になり、そういう援助はとってもありがたいかと思うんですが、ところによると小児科の先生たちは大変で、夜も昼もどンドン子どもたちがちょっとしたことでもすぐ外来に来てパンクするという話も聞くこともあります。そういう支援もとっても必要なのかもしれませんが、医療機関にかかってない子どもたち、子どもだけじゃないようですが、大人もたくさんおります。予防のほうをしている方々もいるわけで、そういうところにもっと目を向けて、少ない財源の中、どンドンどンドン医療のことばかりじゃなくてもいいのではないかなと常日ごろ思っております。健康保険を一回も使わなかったところに特典を何とかするとか、そういう方法はどうなのかなと常日ごろ考えております。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

ありがとうございました。

この医療費助成制度というのは、もともとは財源の豊かな東京都からスタートした制度でありまして、それが今、全国に広がって、いわばこの医療費助成制度をさらに拡充していくことが行政にとっての最大の何かサービス合戦のような形になっていきますけれども、ただ、子育て世代の方々に対してはこういった制度は大変ありがたい制度でもあります。時代のニーズにそういった行政も対応していかなければならないということでもありますので、当然今、御懸念された小児科に昼夜問わず外来が来るということも、やはり医師会等々とも十分に協議をした上でこういった医療制度というものを進めていかなければならないと思っておりますので、今の御意見をいただきながら今後も金沢市として対応をさせていただければと思っております。ありがとうございました。

それでは、子育て支援に関するテーマは終了させていただきますけれども、この子育てに関する以外のテーマで御意見、御要望を承ればと思っておりますので、どうぞ挙手にてよろしく願いいたします。

**【参加者】**

まず、この会議の進め方なんですけれども、今まで3回ほどされてますよね。その会議で、市のほうから、議会のほうからの報告とかそういうことが多いんですけども、やっぱり市民との意見交換会なんで、もっと市民からの意見を重視

して、意見聞いて、そのやりとりを多くしていつてもらいたいですよね。そうしていくことによって、やっぱり皆さんも一般市民の方が考えておられることもわかるだろうし、それをまた市なり県とか国のほうへ持ち上げてもらえれば一番いいかなと思うんです。

きょうは市議会の議長がいらっしゃいますので、代表なんで伺いますけれども、きょうの質問、何件ありました。それで、どういった内容でしたでしょうか。ちょっと教えてください。

【田中展郎議長】

正確に何件とか、ちょっと私は数えてません。ただ、皆さんの、今の子ども・子育て支援新制度に対する意見は真摯に聞かさせていただきました。

【参加者】

正直言いまして、この意見は皆さんのためでもあるんですよね。やっぱり皆さんは真剣に考えていただかないと、市民の皆さんも真剣になるようなことにならないと思うんです。

今まで私も3回出させてもらいました。最初的时候は65名ですか、市民。2回目は25名です。今回は何名か知りませんが、だんだん減ってきていることは間違いない。何ですか。

やっぱり皆さん真剣味が足りないという感じがするんですよね。委員の方らは自分の担当するあれですからちゃんとやっておられると思うんですけど、それ以外の方は何となく、全然関係ないわと、そういった感じに受け取られるんですよね。やっぱり真剣味を持ってやってもらわないと、こんなことではだんだん意見言う人も減ってくるだろうし、来る人も減ってくるんですよ。

強いて言えば、来年ですか、市会議員の選挙あるのは。そのためのパフォーマンスかなというふうに疑いかねないですよ。もうちょっと真剣にやってもらわないと、議長が特にやっぱり真剣にやってもらわないと、私らも真剣になれないです。もうちょっとしっかりやってください。

【田中展郎議長】

貴重な御意見ありがとうございました。

いろんな見方があるでしょうけど、私たちは私たちに真剣にやっているつもりでございます。今の意見は、何せ1年目ですから、いろんな意見があると思いますけど、初めての意見交換会、1年目ということなんで、それを踏まえて、また皆さんのこの御意見を参考にさせていただいて、最初から完璧なものというところはなかなか難しいと、そうでしょう。だから、私たちも皆さんの意見を聞いて、次年度にまたいろいろ反映していきたいと思っています。

以上です。

【参加者】

それともう一つ、済みません。先ほど言い忘れたんですけど、今の意見出まし

たよね。それがホームページに発表されるというふうに言われておるんですけども、けさ、ホームページを見たんですけども、8月に第1回やってますよね。3カ月たっていますよね。それが一向に出てないんですけども、これはどうなんですか。何カ月後に発表になるんですか。それが3カ月とか4カ月、半年たっても出ないようでは意味がないと思うんですよね。

それとあと、議会の進め方も、やっぱり前回の皆さんからの意見をまずはちょっと言ってもらって、その意見も、きょうお集まりの皆さんに聞くとかそういったことも必要なんじゃないですか。

以上です。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

ありがとうございます。

8月の意見交換会は今、記録ができているところでありますので、できる限り速やかにホームページ上にアップさせていただければと思いますし、先週行いました意見交換会、また本日の意見交換会も記録をまとめ次第、ホームページのほうでアップをさせていただければと思っております。

また、今御提案のありました前回の御意見を踏まえて報告すべきだということでありましたけれども、そういったことも今後、議会の中で5つの委員会の委員長会議というものでこの意見交換会の進め方というものの協議を進めさせていただいておりますので、そういった御意見をもとに、また参考にさせていただければと思います。

そのほか、どうぞ。

**【参加者】**

市民福祉のところに関係ないのかもしれないんですけど、育児支援という視点で市民税のことで、一つ意見を言いたいと思うんですけども、市民税というのは前年の所得に対して次の年にかかってくるんだと思うんですけども、育児休業をとる場合、育児休業している間は雇用保険から育児休業手当が出ますけれども無収入になるわけで、市民税を一括して払ってくれというふうに出てきます。

国の制度で市民税を1年間延滞することは自治体によってできますよというふうになっているんですけども、金沢市の場合は1年間延滞すると14.6%の滞納している人と一緒の延滞税と一緒に納付してくれとなっているということで、これをぜひ育児休業している間は1年間ゼロ%で延納できますよというような運用を、ここで市民福祉のところは関係ないのかもしれないんですけども、ぜひ、まだこれは野々市や白山市もやってないので先駆けてやっていただければなというところですよ。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

本日、このチラシにも、「あなたの子どもたちのための御意見をお聞かせください」とうたってありますので、御意見として承りたいと思いますし、今後の議論



の参考にもさせていただければと思います。

時間の関係もありますので、もしありましたらもうお一方、御意見を賜ればと思いますので、よろしくお願いします。

**【参加者】**

今回初めて参加させていただいたんですけれども、今回のこの子育て支援という点でちょっと興味があったので参加させていただきました。

私、フルタイムで仕事をしながら2歳の娘と、8月に次女を出産しました。フルタイムでの仕事をしながら、ちょっとここで申し上げる内容がちょっとわからないんですけれども、2人目の出産をした後で、現在、育児休業中で、また仕事に戻る予定なんですけれども、8月に出産をして、できれば1年ぐらいは育児休業をとりたいんですけれども、8月まで休業をとって、その後に仕事に復帰しようと思ったときに保育園が、4月入所ではないので入りにくい。現在、上の子が行っている保育園では多分入れませんと言われました。実際、出産の時期って自分で調整できるものでもないもので、現在、こうなったときに、自分が仕事に復帰したいと思ったときに、ちょうど1年育児休業をとったときに、いざ戻れない。今回、2人目に関しては今度の4月の入所で書類を出しました。実際、子どもが7カ月の状態で戻ることになります。そういう途中からの保育園の入所とかそういう部分に関して、どうにか市のほうでも少し改善していただければ、やっぱり仕事をしながらの、フルタイムでまた育児休業から戻る私にとってはありがたいなと感じています。

**【麦田徹市民福祉常任副委員長】**

先ほど認定こども園及びその形態の中で少し説明されていたと思うんですが、来年度からはその幅を広げようというふうに現在動いています。

僕も幾つかお話を聞く中で12月とか10月だとなかなかというのも今まで聞いていまして、やっぱりそういうことは改善してほしいということを議員サイドでは常に言ってきていますので、今、この制度改正に当たってはしっかりその辺も議員側の立場から一緒に皆さんと取り組んでいかなければいけないなというふうに思っています。

以上です。

**【小林誠市民福祉常任委員長】**

ありがとうございました。

それでは、時間にもなりましたので今回のこの意見交換をこれで終了させていただきます。

なお、本日、皆様からいただきました子育てに関する事、また医療費助成に関する事、さまざまな御意見などにつきましては、この市民福祉常任委員会を通じて市の当局にお伝えをしていくとともに、可能な限り委員会としても要望していければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、司会を麦田副委員長のほうにかわります。

## 6. 閉会挨拶

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

ありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして金沢市議会副議長の松村理治からお礼の御挨拶を申し上げます。

【松村理治副議長】

本日は、皆様方、多くの御意見や御要望をいただきました。まことにありがとうございました。皆様方の御協力のもと、活発な意見交換ができたことを心よりうれしく思い、感謝をいたします。

意見交換では、いただいた御意見、御提言に対しできる限り丁寧に回答したつもりではございますが、お聞きになられた皆様方には満足のいく回答ではなかったかもしれませんが、いただいた御意見につきましては、議員一人一人が真摯に受けとめ、その実現のための方策について議論を交わし、市政に反映していくことができればと思っております。

今後とも忌憚のない御意見をお寄せいただき、市民の皆様とよりよい金沢市政をつくってまいりたい、このように思っております。

最後になりましたが、本日は本当に土曜日の午後、御参加をいただきましたことを心から厚く感謝を申し上げまして、お礼の言葉にかえさせていただきます。

どうもありがとうございました。(拍手)

## 7. 閉 会

【麦田徹市民福祉常任副委員長】

本日御参加いただきました方々、本当にさまざまな御意見をいただきました。ありがとうございます。

なお、受け付けの際にアンケートを配布させていただいておりますが、お帰りの際はできれば御記入の上、受付に提出をいただきたいと思いますので、お願いいたします。

また、次回の意見交換会は年が明けて1月28日水曜日の午後7時から、鳴和台市民体育会館におきまして「城北市民運動公園の整備について」をテーマに開催を予定しておりますので、お時間がございましたらこちらにも足をお運びいただければと存じます。

本当に本日はお忙しい中、御参加をいただきありがとうございました。これで終了させていただきます。

以 上